

防災行政無線更新工事について

1. 既設同報系防災行政無線設備の概要

無線方式：60MHzアナログ同報系

導入年度：平成4年

経過年数：27年

親局設備：1基（市役所）

中継局設備：1基（恵那市田代山）

遠隔制御装置：2台（消防本部、陶分署）

地区遠隔装置：5台（各コミュニティーセンター）

屋外拡声子局：108基

2. 更新理由

- ・無線設備規則の改正に伴い、現行の防災行政無線設備は、平成34年12月1日以降使用できなくなる。
- ・設備の老朽化、部品の製造中止等に伴い、今後は保守も困難となることが想定される。

3. 導入システムの概要

無線方式：60MHzデジタル同報系

親局設備：1基（市役所）

中継局設備：1基（恵那市田代山）

遠隔制御装置：2台（消防本部、陶分署）

地区遠隔装置：5台（各コミュニティーセンター）

再送信子局：1基（釜戸小学校）

屋外拡声子局：96基

【システムの利点】

- ・他団体等が所有する設備に依存せず、全ての設備を所有することができる。（自営無線）
- ・現行のシステムと別系統であるため、防災情報伝達システムの多様化が可能となる。

4. 工事費用 353,106千円

5. 工期

平成31年3月27日～令和2年12月11日

【主なスケジュール】

機器製造：令和元年 6月～令和2年10月

親局設置：令和元年 8月～令和元年12月

中継局設置：令和元年 9月～令和2年 1月

子局設置：令和元年11月～令和2年10月

調整試験：令和元年10月～令和2年11月